

地産地消

地元の米を学校給食に

町長／食育の上でも大事なこと



木下敬子議員

木下 子供達に生産者の顔が見えているのか。農業が主幹産業である我が町の米をなぜ給食に100%使っていないのか。

町長 生産者との交流は、感謝の心を育み、食の大切さを学ぶのにも意義があることと思っています。また、さつま産の米を使うことには、コストの面、安定した供給・安全性なども考えながら、関係機関、関係団体等と連携を図り、利用促進に努めて参ります。



学校給食の様子

女性審議会設置の内容は

町長／女性の視点を町づくりに

木下 かつて設置されていた「さつまおごじよ元気会」の活動を、どう評価しているか。又、女性審議会設置の具体的な内容について伺う。

町長 課題や方向性、具体的な項目等について提言いただいたことに対して一定の評価と敬意を表しています。審議会の内容は、7月に各年代層からの公募と団体推薦で15名を予定。提案内容を検討し、可能な限り各年度の施策や事業に反映いたします。

その他の質問

・小規模校での学校炊飯の取り組みは

国の臨時交付金の使途は

町長／地域経済の波及効果を

地域活性化



市来 修議員

市来 町長の所信に掲げている短期、中長期な事を政策に反映させるとある。そこで短期的取り組みについて伺う。

町長 短期的な取り組みとして、雇用の創出を始め、少子高齢化対策、防



利用促進が望まれる地元店（百縁祭の様子）

災対策など幅広く取り組みます。一例としては、臨時交付金を利用してのプレミアム付商品券など即座に実行しましたので、地域経済に一定の効果はあるものと考えます。

大手進出で仕事量が激減しているが、景気対策を伺う。

本町単独の景気対策は

町長／事業の不足予算は追加で

町長 町単独の景気対策として、まずは、交付金事業の執行を急ぎ、その中で不足する分、補完しなければならぬ分は、今後補正予算等で検討していかなければならないと思っております。地元経済への波及効果があるよう十分配慮して参ります。

市来 農林業については、資材の値上がり、出荷品は、値下がり、商工業は、